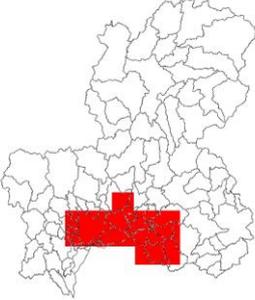


サガミトリゲモ	<i>Najas chinensis</i> N.Z.Wang	絶滅危惧I類
(環境省:絶滅危惧II類)		イバラモ科
選定理由	生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	葉は線形で明瞭な鋸歯があり、やや硬く、時に少し反り返り、長さ12-30mm。葉鞘の先は切形で鋸歯が出る。県内のイバラモ属の中ではがっしりしたグループである。花期は7-9月。果実は細長い楕円体で葉腋に1個付く。種子表面の模様は最も明瞭で、大きめの正方形が並ぶ。	
生態的特徴	溜池や水田に生育する沈水性の一年草。	
分布状況	本州・四国・九州・琉球に分布し、岐阜県では県南中部の低地に分布する。	
減少要因	水辺環境の改修工事、水田の改修工事や乾田化、水質悪化。	
保全対策	開発行為からの生育環境の保全。	
特記事項		
参考文献	角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.	

文責:清水英彦